

専門分野Ⅱ・母性看護学実習の計画

実習目的	妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の対象を理解し、個別的な看護実践のための基礎的な能力を養う。		
実習目標	産科外来	産科病棟	新生児室
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦健康診査の目的を理解し、妊娠週数に応じた母体と胎児の変化を考える。 2. 妊婦の保健指導の必要性を理解できる。 3. 妊娠に伴う心理・親役割獲得過程について理解できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産褥経過の理解 2. 受け持ち褥婦の生活の理解 3. 母子関係確立に向けて母親役割獲得に向けての援助 4. 地域社会との連携の理解 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 早期新生児の理解 2. 早期新生児の胎外生活適応過程の理解 3. 親子関係確立に向けた援助の理解
実習方法	妊婦健診・保健指導の見学を通して妊婦が心身ともに順調に妊娠経過をたどるためのケアを理解する	受け持ち事例の看護過程の展開	新生児の日常生活援助を通し胎外生活適応過程を理解する
	各セクションをローテーション		
実習時期	3年次		
単位・時間数	2単位90時間		
評価方法	実習評価表による総合評価		
先修条件	疾病・治療論Ⅶ、母性看護学概論、母性看護学援助論Ⅰ・Ⅱを履修し、基礎看護学実習Ⅲの単位修得		